

長崎大学の教職員及び地域の皆様へ

演奏会のご案内です。

諸般の事情により、12月より延期になっていました「音楽のシルクロード Part 1 ～中国から長崎へ～」を、来る3月11日（金）午後7時から、チトセピアホールで開催します（入場無料）。この演奏会は、長崎大学中期目標に基づき、社会ニーズに沿った演奏会を開催し、地域社会に開かれた芸術の場をつくり、文化発信をするものです。今回の演奏会では、本学の三上次郎先生の作品を中心に構成し、中国・鞍山師範学院から声楽・ピアノの先生方を招待します。日・中それぞれの歌曲や民歌、ピアノ曲そしてオリジナル曲を披露します。また、同学院美術科教授で、中国では書家としても著名な王登科先生もあわせて招待し、会場内に絵画（掛け軸）を展示します。中国絵画に囲まれて、日本とそして中国の情緒に浸っていただけたらと思います。

今回の演奏会の聴きどころをご紹介します。

まず今回の演奏会の特色としては、日本のメロディーにも多くの影響を与えた中国の民謡や歌曲、それにピアノ曲をお楽しみいただけます。声楽でお聞きいただくウイグル民謡や、ピアノで奏される広東民謡など、情緒豊かなステージをお楽しみいただけることと思います。

また、明治から大正、昭和へと、各時代の代表的な日本の歌曲（荒城の月、六騎、ゴンドラの唄 ほか）を、宮下茂先生が熱唱されます。

前半を締めくくる王先生ご自身の書や絵画に関するスピーチのあと、休憩時には、会場を取巻く絵画作品群を味わっていただけます。

演奏会の後半には、作曲家「三上次郎の世界」を存分にご堪能いただけます。特に、今回の演奏会のために書き下ろされた「ヴァイオリンとピアノのためのエッセイ『祈り～そして大地へ～』」＜初演＞は、聴きごたえ十分です。また、10年以上前に作曲された「フルートとピアノのための『この秋に』」、そして昨年作曲され、今回は九州交響楽団からの客演を交えて演奏される「弦楽合奏のための2つの印象」との聴き比べをされても面白いかと思います。

お問い合わせ先

教育学部 堀内研究室

095-819-2343

horiuchi@nagsaki-u.ac.jp